

わらい声、六倍ごえ ろくばい大隅光一朗おおすみ こういちろう

ぼくのうちはいつもうるさい。大わらいしてころげ回ることは毎日だし、大声でおこられることもしょっちゅうだ。

ぼくにはお父さんお母さん、そして弟が三人いる。お母さんがいい、みんな男だ。うちはパワフル六人かぞくだ。

みんな同時にしゃべり出すから、お母さんは、

「一人ずつしゃべって！」

とよく言う。そんなお母さんの声も大きい。

弟たちとおふるに入っている声は、三百メートル先のさかの上まで聞こえているらしい。お父さんがしごとからかえってきた時に、大わらいしながらそう言っていた。

ぼくは四人兄弟の一ばん上だから、大へんだ。たとえば、しゅくだいをしていると、一さいの弟がハイハイでよってきて、ぼくの足をなめる。とても気がちる。けんかをした時は、弟が先になき出すから、ぼくはがまんが多い。それなのに、一ばんおこられる。朝、弟をトイレにつれて行くのも、ぼくのしごとだ。ほんとうは、すごくめんどくさい。

よく、お父さんとお母さんが、

「かぞくはチームだ！」

と言う。かぞくみんなで心はいし、みんなでかなしみ、みんなでたすけ合い、みんなでよろこび、みんなでわらう。そうやって、のりこえていくんだって。よくわからないけど、かぞくが多いのもわるくはないなって、少し思った。

兄弟が多いと、たくさん話せて、いっしょにあそべてうれしい。気に入っていたふくは、弟がきてくれるからうれしい。弟をあやすと、ケラケラわらってくれるからうれしい。やっぱりほくは、かわいい弟がいて、うれしい。

お父さんお母さん、六人チームを作ってくれて、ありがとう。お父さん、おしごとをがんばってくれてありがとう。あせだくになってあそんでくれるお父さんが、大すき。お母さん、いつもたくさんのごはんと、せんたくをありがとう。夜ねる前に、ぎゅってしてくれるお母さんが大すき。弟たち、いつもわらわせてくれてありがとう。かわいくておもしろい弟たちが大すき。

ほくのうちはいつもうるさい。だけど、わらい声も六倍！　こんなにぎやかなチームが、ぼくは大すき。

評価のポイント

出だしから引き込まれる文章力。大勢の家族がいる楽しさが伝わり、情景が浮かんでくる。